

2023年度 事業報告書

特定非営利活動法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーJAPAN

1 事業の成果

2023年、ラオ・フレンズ小児病院（LFHC）の来院数は年間のべ38,000人を超え、日々の忙しさの中でも医療チームはケアの質を落とすことなく懸命に治療に当たるとともに、将来的な現地化に向けたリーダー育成をはじめとする様々な教育も継続して実施した。

【医療】

- ・入院病棟の入院患者数は常時25～35名。症状としては呼吸器感染症、血液疾患、栄養不良や外傷等。
- ・首都ビエンチャンでのICU研修に加え海外からのボランティア専門家の指導によりHAU（重症病棟）スタッフの知識及び技術が向上。
- ・腎疾患クリニック、整形外科クリニック、癲癇クリニックを開設。これまでどこにも頼ることが出来ずにいた子どもたちへの専門的なケアの提供を開始。
- ・早産児や新生児病棟で母乳を必要とする赤ちゃんへ提供するためのドナーミルクバンクを開設。
- ・院内スタッフによる手術が可能となるよう（現時点では、県立病院からの外科医が対応）、医師3名を外科研修に派遣。海外の外科チームと連携をとり、口唇口蓋裂の手術を2度実施。

【教育】

- ・郡立病院をはじめとする院外でのトレーニング、看護・医療学生への指導等をLFHCスタッフが実施。
- ・若手医師向けの包括的な基礎コース、上級医師向けの2年間のカリキュラムを実施。
- ・基礎的な看護教育プログラム及び専門的なトレーニングプログラムを作成、実施。
- ・ラオス保健省、栄養センター、保健・リハビリテーション局及びユニセフ・ラオスと連携し、ラオス全土の郡立病院とビエンチャンの中央病院スタッフ、栄養センター、保健・リハビリテーション局のスタッフが参加するIMAM（急性栄養不良統合マネジメント）に関する研修プログラムの企画・実施。

【予防】

- ・アウトリーチ（訪問看護）の活動は、経過観察に加え緩和ケア・看取りケアやその他の慢性疾患など多岐にわたる。医療的ケアだけではなく、社会的・心理的なサポートを必要とするケースも多く、長時間、困難な道りを経て患者さんの元へチームが出向き、必要なケアを実施。
- ・新たに子どもの健やかな成長は妊娠期からの予防が必要という点に着目した、ファースト1000デイという予防プロジェクトを開始。ラオスで深刻な栄養不良改善に努める。

■助成事業

カンボジアの「アンコール小児病院（AHC）」の医療教育活動及び地域医療支援教育活動への助成支援を行った。

【医療教育活動】

- ・政府系病院で質の高い小児科医療を提供するための知識と技術強化を目的に政府機関から研修医の受け入れを実施。
- ・カンボジア医師や看護師を対象に、高度小児救命処置講習（APLS）や小児救命処置講習（PLS）を実施。
- ・将来の医療リーダーを育成すべく、専門医の研修を実施。

【地域医療支援教育活動】

- ・農村地域での健康改善のため、小学校教員及び保健センタースタッフへの研修、子どもたちの栄養不良検査や保健衛生教育を実施。

■日本国内

支援者へのプロジェクト進捗報告、対面及びオンラインイベントを通じた参加型支援の拡充、SNS 等を通じた広報活動等、団体の取り組みを広く伝えるべく様々なことに取り組んだ。

【プロジェクト報告】 メールマガジン、年次報告書やパンフレット等を通じた報告活動

【イベント】 ラオスフェスティバルへの参加、スポーツ企画や交流会、チャリティイベント等の実施

【資金調達】 クラウドファンディング、寄付キャンペーンおよび助成金申請

【広報】 学生インターンとスタッフで SNS を活用した広報活動の実施

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 155,805 】千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
助成事業	アジアの恵まれない子供たちの医療支援を目的とする団体へ助成を行う。	通年	アンコール小児病院	249名	1)カンボジア人医療従者のべ1千名以上 2)不特定多数のカンボジアの子供、教師や地域住民	33,621
医療施設運営・教育・予防事業	「ラオ・フレンズ小児病院(LFHC)」の運営、医療・教育・予防事業を行う。	通年	ラオ・フレンズ小児病院	165名	1)不特定多数のルアンパバーン地区の子供 2)LFHC スタッフ、他医療施設スタッフ及び患者家族	98,877
スタッフ派遣事業	専門家を派遣し、スタッフや住民へ医療・予防教育等を行う。	通年	ラオス、カンボジア	1名	現地スタッフ約170名及び不特定多数の地域住民	722
医療物資等運搬事業	病院のために寄贈された物品や備品等の輸送手配や、運搬を行う。	通年	法人事務所、他	5名	不特定多数の医療従事者と患者	77
普及啓発事業	WEBサイトやリーフレット、年次報告書の活用、イベント等で広報に努める。	通年	法人事務所、他	5名	不特定多数の寄付者及び参加希望者	22,508